平成 27 年度 安全工学会 玉置功労賞

受賞者 高木 伸夫氏

選考理由

高木伸夫氏は 1973 年横浜国立大学大学院修士課程を修了し、同年千代田化工建設株式会社に入社されました。大学で安全工学の創始者の一人である北川徹三先生に師事し、千代田化工建設では安全技術部や HSE 部に所属し、国内、海外の石油、石油化学、LNG 関連のプロジェクトにおけるエンジニアリング段階での HAZOP などによるプロセス安全性解析、リスク評価、信頼性解析、火災爆発などの災害影響評価などプラントの安全に関する業務に携わられてきました。

安全工学会では、2002 年まで 20 年近く安全工学誌の編集委員を務められ、2008 年から 2012 年にかけて普及委員長、企画委員長、2012 年から 2014 年は副会長を務められました。また、学会誌にプロセスプラントの安全設計基礎講座を連載したほか、プロセス安全やリスク評価に関する多数の投稿を行うとともに安全工学セミナーでの講師など安全工学会の活性化に寄与されました。さらに、学会が受託した経済産業省からの受託事業における保安力、現場保安力に関する調査検討、旧石油産業活性化センター（現 JPEC）からの受託事業でのヒヤリハット・事故情報の活用に関する調査検討など、学会が行った多数の受託業務に貢献いただきました。

安全工学会以外の主要な活動としまして、石油公団（現 JOGMEC）岩盤貯蔵技術研究会副委員長、（独）労働安全衛生総合研究所の外部評価委員を務められたほか、（財）全国危険物安全協会・危険性評価手法検討委員会第 2 部会長として危険物施設の危険性評価手法の開発にあたり、また、2014 年より 2 年間にわたり高圧ガス保安協会のリスクアセスメント分科会主査を務め、非定常リスクアセスメント手法のガイドライン作成に貢献されました。1999 年から化学工学会安全部会主催の安全性評価手法セミナーではチーフインストラクターとして企業人を対象に、現在に至るまで実務面からの HAZOP の指導を行っておられます。大学関係では、1998 年より 2000 年まで横浜国立大学で非常勤講師を務めたほか、2008 年より岡山大学工学部、2009 年より慶應義塾大学大学院システムマネジメント研究科の非常勤講師を務め、また 2008 年より消防大学校での講師も務められており、学生や社会人に対する安全の基本を講義されています。2000 年には（有）システム安全研究所を設立し、プロセス安全や HAZOP をはじめとするリスクアセスメントに関する助言や指導を通して安全工学の普及に努められています。

同氏の長期間にわたる安全工学会での活動ならびに産業、教育界への貢献は、玉置功労賞にふさわしいものであります。

受賞者 高木 伸夫氏 略歴

1973年 横浜国立大学大学院工学研究科安全工学専攻修士課程修了
同年 千代田化工建設株式会社入社
1990年 安全技術部部長代理
1997年 HSE 部部長
1999年 プラント設計部技術部長
2000年 (有) システム安全研究所設立し現在に至る